

「CSの日『オータム交竜会』」に向け、竜北中学生が頑張ってます！

竜北中学校区拡大CSでは、各クラスを担当する中学生・CS委員のチームと取り組むテーマが決まり、それぞれに動き出しました。今年度、中学生が伝えたいテーマは、氷川町の農産物・自然・歴史などです。中学生は、それぞれ自分の母校のクラスに入り、氷川町にある宝を学び小学生に伝えます。名前だけしか知らなかったことを調べる生徒も多く、夏休みから地域の人を借りて学びを深めます。

氷川町の文化財について学ぶ

7月26日(水)、吉本公民館に中学生3人とCS委員2人が出向き、大嶋さんと牛嶋さんにお話を聞きました。江戸時代から薩摩街道沿いの吉本地区が栄えていた話や、お二人の子どもの頃の様子、文化財である青貝にまつわる貴重な話など、しっかり聞かせてもらうことができました。滅多に触ることができない文化財の太鼓もたたきました。歴史の重みを肌で感じた中学生が、今後CS委員と一緒に小学生に何を、どう伝えるかを考え取り組んでいきます。



氷川町の古墳について学ぶ



7月28日(金)、古墳について調べるチームが、竜北ウォーキングセンターに集合し、氷川町にある古墳やたくさんの文化財について話を聞いた後、大野窟古墳に行きました。玄室の天井の高さが日本最大級と聞き、氷川町にある文化財がいかに貴重なものであるかを改めて感じていました。身近にたくさんの文化財があることを知り、夏休み中に他の古墳や貝塚なども見に行きたいと意欲を燃やしていました。

氷川町の祭りを盛り上げたい！（小中連携して祭りに参加）

7月29日(土)、氷川町納涼祭が4年ぶりに行われ、氷川中生有志と氷川町の子ども会として、3校の小学生の希望者が流し踊りに参加しました。参加希望の小中学生は、踊り自体も全く知らなかったもので、2日間、氷川中学校の体育館で一緒に練習をしました。緊張気味だった小学生も、中学生にやさしく教えてもらい本番は上手に踊ることができました。参加した子どもたちは大きなかけ声で祭りを盛り上げ、見物人に喜んでもらい、とても楽しんでいました。

8月23、24日に行われる町の地蔵祭りでも、造りものをつくって参加します。地域の皆さんと一緒に祭りに参加し、楽しみながら盛り上げます。

